

本時の学習

【1時間目】

- ねらい：題名から書いてある内容を予想し、本文中から「地球の未来」を考えている文を探す。
- 本時の展開

過程	学 習 活 動	時間	学習の支援及び留意事項（：全体への支援、：概ね満足に達していない生徒への支援）	評 価 項 目
つかむ	1 モアイについて、知っていることを発表する。 （【ワークシート】）	5	モアイについて知っていることを、なるべくたくさん書き出させる。 モアイの写真を紹介する。 石像 石を彫った像 凝灰岩でできた石像 大きな顔の石像 イースター島にある石像 南太平洋のイースター島という島にある石像 東京（渋谷駅）にある石像 モヤイ像	
	2 学習のねらいを確認する。 （【ワークシート】）		本題材に関するねらいを、黒板に掲示して視写させる。 筆者の主張をとらえ、自分なりの意見をもとう	
<p>「モアイは語る 地球の未来」という題名から考えて、「モアイ」はどんな「地球の未来」を語っているのだと思いますか。書いてある内容を予想してみましょう。</p>				
	3 「モアイは語る 地球の未来」という題名から、書いてある内容を予想する。 （【ワークシート】）	10	「モアイは語る 地球の未来」という題名から、「モアイ」はどんな「地球の未来」を語っているのかを考えさせ、書いてある内容を予想させる。 題名に、倒置法が使われていることに着目させる。 「モアイ」は、先行きの明るい「地球の未来」について語っている。 「モアイ」は、先行きの心配がない「地球の未来」について語っている。 「モアイ」は、先行きの暗い「地球の未来」について語っている。 「モアイ」は、先行きの心配な「地球の未来」について語っている。 〔発表の際には、「『モアイ』は（...という、...な）『地球の未来』について語っている。」という言い方にしてみましょう。〕という補助発問を参考にさせる。 自分なりに、予想した理由や意味についても考えさせ、みんなの前で説明させる。	【国語への関心・意欲・態度】 「モアイ」がどんな「地球の未来」を語っているのか、「『モアイ』は（...という、...な）『地球の未来』について語っている。」という言い方で、書いてある内容を自分なりに予想しようとしている。 《ワークシート》
<p>3番で予想した「地球の未来」はどこに書いてあると思いますか。本文中の「地球の未来」を考えている文（「モアイ以後の未来」を考えるのに参考になるところ）を探して、文頭に 印を書いてみましょう。</p>				
深める	4 教師の音読を聞き、本文中の「地球の未来」を考えている文を探して教科書に線を引く。（教科書プリント）	30	3番で予想したことを確認させる。 教師の音読を聞いてから取り組ませる。 教科書に形式段落の番号をふらせておき、 印を書いた段落番号を確認する。 初めは個別で取り組ませることとし、生徒の実態に応じて、答えの文を順番に確認しながら一緒に考えていくようにする。 〔六つの形式段落【 ・ ~ 】をよく読んでみましょう。〕という補助発問を参考にさせる。 過去形の文やモアイの製作に関わる文は、答えに入らないことを確認する。 実は、この絶海の孤島で起きた出来事は、わたしたちの住む地球の未来を考えるうえで、とても大きな問題を投げかけているのである。【 】（問題提起）イースター島のこのような運命は、わたしたちにも無縁なことではない。【 】 日本列島において文明が長く繁栄してきた背景にも、国土の七〇パーセント近くが森で覆われているということが深くかかわっている。【 】 日本列島だけではない。【 】 地球そのものが、森によって支えられているという	【読む能力】 本文中の「地球の未来」を考えている文（「モアイ以後の未来」を考えるのに参考になるところ）を探して、文頭に 印を書くとともに問題提起や結論部分を把握している。 《ワークシート》
<p>【A】言語情報への主体的な働きかけ</p>				

			<p>面もある。【 】</p> <p>森林は、文明を守る生命線なのである。【 】</p> <p>現代のわたしたちは、地球始まって以来の異常な人口爆発の中で生きている。【 】</p> <p>一九五〇年代に二十五億足らずだった地球の人口は、半世紀もたたないうちに、その二倍の五十億を突破してしまった。【 】</p> <p>イースター島の急激な人口の増加は、百年に二倍の割合であったから、いかに現代という時代が異常な時代であるかが理解できよう。【 】</p> <p>このまま人口の増加が続いていけば、二〇三〇年には八十億を軽く突破し、二〇五〇年には百億を超えるだろうと予測される。【 】</p> <p>しかし、地球の農耕地はどれほど耕しても二十一億ヘクタールが限界である。【 】</p> <p>そして、二十一億ヘクタールの農耕地で生活できる地球の人口は、八十億がぎりぎりである。【 】</p> <p>食料生産に関する革命的な技術革新がないかぎり、地球の人口が八十億を超えたとき、食糧不足や資源の不足が恒常化する危険性は大きい。【 】</p> <p>(絶海の孤島のイースター島では、森林資源が枯渇し、島の住民が飢餓に直面したとき、どこからも食料を運んでくることができなかった。)地球も同じである。【 】</p> <p>広大な宇宙という漆黒の海にぼっかりと浮かぶ青い生命の島、地球。【 】</p> <p>その森を破壊し尽くしたとき、その先に待っているのはイースター島と同じ飢餓地獄である。【 】</p> <p>とするならば、わたしたちは、今あるこの有限の資源をできるだけ効率よく、長期にわたって利用する方策を考えなければならない。【 】</p> <p>それが、人類の生き延びる道なのである。【 】</p> <p>「地球の未来」に関係している文の中から、 で記載した 3 段落の三つの文を選ばせることで、この文章の要旨(筆者の主張)を確認する。</p>
まとめ	<p>5 新出漢字の確認、難語句の確認をする。</p> <p>6 自己評価欄に、本時の自己評価・感想等を記入する。</p>	5	<p>この時間は新出漢字の字形を確認する程度にとどめ、詳細な学習については、別紙のプリントを用意し家庭で行わせる。</p> <p>早く書けた生徒には、感想を発表させる。</p> <p>次時の予告をするとともに時間が足りなくて感想が書けなかった生徒には次時まで書いておくよう指導する。</p>

【2時間目】

- ねらい： 1 段落に示された問題提起と 3 段落に示された結論部分とを確認し、そのつながりを読み取っていくための課題をつかむ。
- 本時の展開

過程	学 習 活 動	時間	学習の支援及び留意事項（ : 全体への支援、 : 概ね満足に達していない生徒への支援）	評 価 項 目
つかむ	<p>1 本時のねらいを確認する。</p> <p>2 【ワークシート】の4番を基にして、文章全体を三つのまとまりに分ける。（【ワークシート】）</p>	10	<p>自己評価欄を基に、本時の学習内容を確認させる。</p> <p>【ワークシート】の4番の、文章中の「地球の未来」に関係している文が、どの形式段落なのかをヒントにして考えさせる。</p> <p>3 番の問題と並行して取り組ませる。ただし、生徒の実態を考慮して、時間がかかりそうな場合は、こちらから提示する。</p> <p>1 段落「問題提起」【 ~ 】(初め~P131.L5)</p> <p>2 段落「具体的な事例」【 ~ 】(P131.L6~P135.L5)</p> <p>3 段落「筆者の主張」【 ~ 】(P135.L6~終わり)</p> <p>それぞれの意味段落の役割(問題提起・具体的な事例・筆者の主張)について考えさせ、文章全体が、上記の三つの</p>	

		意味段落に分けられることを理解させる。	
	「筆者がこの文章を通じて、読者に考えてほしいこと・主張したいこと」は、どんなことだと思いますか。2番の文章構成を基にして、考えてみましょう。		
	3「筆者がこの文章を通じて、読者に考えてほしいこと・主張したいこと」は、どんなことなのか考える。 （【ワークシート】）	20	<p>文の後ろに（ ）を書かせて、その（ ）内に形式段落の番号を書かせる。</p> <p>【ワークシート】の4番を基にさせて、1段落と3段落の「地球の未来」に関係している文からそれぞれ一文ずつ選ばせる。</p> <p>1段落の形式段落 と3段落の形式段落 の筆者の意見から、それぞれ一文ずつ選ばせる。</p> <p>【【ワークシート】の4番を基にして、1段落の形式段落 と3段落の形式段落 からそれぞれ一文ずつ選んでみましょう。】という補助発問を参考にさせる。</p> <p>実は、（この）絶海の孤島で起きた出来事は、わたしたちの住む地球の未来を考えるうえで、とても大きな問題を投げかけているのである。【 】</p> <p>とするならば、わたしたちは、今ある（この）有限の資源をできるだけ効率よく、長期にわたって利用する方策を考えなければならない。【 】</p>
	(1) 1段落の筆者の意見から選ぶ。		<p>【言語についての知識・理解・技能】</p> <p>文章構成について、文章全体が三つの意味段落(序論・本論・結論)に分けられることに加えて、それぞれの段落の役割(問題提起・具体的な事例・筆者の主張)をしっかりと理解した上で、本時の課題に取り組んでいる。</p> <p>《ワークシート》</p>
	(2) 3段落の筆者の意見から選ぶ。		
	3番の二つの筆者の意見から、どんなことを考えながら2段落を読んでいけばよいと思いますか。		
深める	4 3番の二つの筆者の意見を基にして、「読みの課題」を推測する。 （【ワークシート】）	15	<p>3番の二つの筆者の意見を基にして、考えさせる。ただし、生徒の実態を考慮して、時間がかかりそうな場合はこちらから提示する。</p> <p>〔2段落を読んでいく時に、2番の二つの筆者の意見から問題を作るとするならば、どんな問題ができると思いますか。〕という補助発問を参考にさせる。</p> <p>なぜ筆者は、「実は、（この）絶海の孤島で起きた出来事は、わたしたちの住む地球の未来を考えるうえで、とても大きな問題を投げかけているのである。」と言っているのか、また「わたしたちの住む地球の未来を考えるうえで、とても大きな問題」とは何なのかを考えさせる。</p> <p>なぜ筆者は、「とするならば、わたしたちは、今ある（この）有限の資源をできるだけ効率よく、長期にわたって利用する方策を考えなければならない。」と主張しているのか、また「今ある（この）有限の資源をできるだけ効率よく、長期にわたって利用する方策」とは何なのかを考えさせる。</p> <p>上記のと について、的確に説明できる生徒が少なかったり、仮に説明できたとしても不完全な説明だったりすることが予想されるため、「読みの課題」を以下の二つに設定する。</p> <p>「わたしたちの住む地球の未来を考えるうえで、とても大きな問題」とあるが、どんな「問題点」があるのか。</p> <p>「わたしたちは、今ある（この）有限の資源をできるだけ効率よく長期にわたって利用する方策を考えなければならない。」と筆者が言っている「根拠」は、どんなことか。</p> <p>各自の書き込みをもとに、クラス全体の場で確認を行わせて、できる限り統一した意見に収束させる。</p>
	<p>【A】言語情報への主体的な働きかけ</p>		
	(1) 1段落の筆者の意見から推測する。		
	(2) 3段落の筆者の意見から推測する。		
	5 友達と意見交流をする。		<p>各自の書き込みをもとに、クラス全体の場で確認を行わせて、できる限り統一した意見に収束させる。</p>
まとめる	6 自分の意見を、振り返って書き直す。	5	<p>友達の意見を参考にさせて、もう一度、自分の考えの練り直しをさせる。</p>
	7 自己評価欄に、本時の自己評価・感想等を記入する。		<p>早く書けた生徒には、感想を発表させる。</p> <p>次時の予告をするとともに時間が足りなくて感想が書けなかった生徒には次時まで書いておくよう指導する。</p>

【3・4時間目】

1 ねらい：「読みの課題」に沿って、筆者の意見の論旨につながると予想される事実（具体的な記述）を教科書本文（2段落）から取り出すとともに、「読みの課題」にかかわる「現在の地球」が抱える「問題点」を教科書本文などから見付け、「読みの課題」の中の「問題点」についての自分なりの考えをまとめる。

2 本時の展開

過程	学 習 活 動	時間	学習の支援及び留意事項（：全体への支援、：概ね満足に達していない生徒への支援）	評 価 項 目
つ か む	1 本時のねらいを確認する。	5	自己評価欄を基に、本時の学習内容を確認させる。 場合によっては、この時間だけでは終わらずに2時間かかることも考えられることを告げる。	
深 め る	<p>「読みの課題」【「わたしたちの住む地球の未来を考えていくうえで、とても大きな問題」とあるが、どんな問題点があるのか。（「わたしたちは、今ある（この）有限の資源をできるだけ効率よく長期にわたって利用する方策を考えなければならない。」と筆者が言っている『根拠』は、どんなことか。）】についての自分なりの考えを、2段落の「イースター島」に関する記述の中から探して表の上段に記入しましょう。</p>			
	2 「読みの課題」についての自分なりの考えを、2段落の「イースター島」に関する記述の中から探して、【ワークシート 下】の表の上段に記入する。	45	<p>「読みの課題」とは、【ワークシート 下】の4番で考えた【 「わたしたちの住む地球の未来を考えるうえで、とても大きな問題」とあるが、どんな「問題点」があるのか。（ 「わたしたちは、今ある有限の資源をできるだけ効率よく長期にわたって利用する方策を考えなければならない。」と筆者が言っている「根拠」は、どんなことか。）】であることを確認する。</p> <p>表の上段の『イースター島』の欄には、「読みの課題」についての自分なりの考えを、2段落の（1）～（4）の各まとめりごとに、二～四個程度、印を書いた後に、付せん紙を使って記入させる。</p> <p>2段落の（1）～（4）の各まとめりの中の「質問」については、印を書いた後に、付せん紙を使って記入させる。（解答についても、セットで記入させる。）</p> <p>〔上の段（『イースター島』に関する記述）には、2段落にある文の中から二～四個ずつ選んで書きましょう。意味を変えずに、文を短くしてみよう。〕という補助発問を参考にさせる。</p>	【読む能力】（3時間目） 「読みの課題」を基に、2段落から「イースター島」に関する記述内容を探し、要点をまとめている。 《ワークシート》
	<p>表の上段の「イースター島」に関する記述に対応する「現在の地球」に関する記述を観点ごとに整理し、1・3段落を中心に、地理の教科書・資料集等から探して、表の下段に記入しましょう。</p>			
3 表の上段の「イースター島」に関する記述に対応する「現在の地球」に関する記述を、1・3段落を中心に地理の教科書・資料集等から探して、表の下段に記入する。 （【ワークシート 下】）	45	<p>【ワークシート 下】を用い、表の上段の「イースター島」に関する記述を観点ごとに整理させ、それに対応する「現在の地球」に関する記述を記入させる。</p> <p>観点は、「人口の増加について」「森林の破壊について」「食料・資源問題について」「土壌の流失について」の四つとする。</p> <p>「現在の地球」に関する記述は、付せん紙に記入させ、【ワークシート 下】の下段に貼り付けさせる。</p> <p>四時間目以降については、サブテキストとして随時、地理の教科書...地（「社会科 中学生の地理」帝国書院）や資料集...資（「最新 地理 資料集」明治図書）を使用させることとし、掲載箇所は補助プリントで提示する。</p> <p>サブテキストや生徒の既存の知識からの考えが出ない場合には、こちらから提示する。</p> <p>〔下の段（「現在の地球」に関する記述）には、1・3段落にある文の中から、上の段に書いた文に対応する文を選んで書きましょう。意味を変えずに、文を短くしてみよう。〕という補助発問を参考にさせる。</p> <p>教科書にない場合や付け足しをしたい場合には、〔地理の教科書...地、資料集...資、自分の考え...自〕から選んで記入させる。</p>	【読む能力】（4時間目） 「読みの課題」を基に、「現在の地球」が抱える問題点を見付けたりサブテキストから関連する事柄を見付けたりして、「イースター島」の記述内容との関連を図っている。 《ワークシート》	

観点	2 段落	イースター島	その他	現在の地球
人口の増加について	(1) 形式段落【 ~ 】	モアイを作ったのは？ ポリネシア人である。【 】 十一世紀ごろ突然モアイの製造が始まる。【 】	1 段落	実は、この絶海の孤島で起きた出来事は、わたしたちの住む地球の未来を考えるうえで、とても大きな問題を投げかけているのである。【 】
		この島の人口が急激に増加を始めた。【 】	自分の考え	世界各地の都会では、ビルなどのコンクリートの構造物が林立しており、モアイ像をビルに例える人もいる。」(目)
		人口は百年ごとに二倍ずつ増加し、十六世紀には一万五千から二万に達していたと推定されている。【 】	3 段落	現代のわたしたちは、地球始まって以来の異常な人口爆発の中で生きている。【 】
			地理の教科書	世界の人口は、アジアやアフリカを中心として急速に増加している。(地P.151)
森林の破壊について	(2) 形式段落【 ~ 】	現在のイースター島には、最近植栽したユーカリの木以外には、森が全くなき、広大な草原が広がっているだけである。【 】	資料集	焼畑農業やプランテーション化、木材需要の多さなどによる熱帯林の減少が問題になっている。(資〔録〕P.68)
		あれほど大きな像をどうやって運んだの？ 島の人々はヤシの木をころとして使い完成したモアイを海岸まで運んだ。【 】	3 段落	地球そのものが、森によって支えられているという面もある。【 】 森林は、文明を守る生命線なのである。【 】
	(3) 形式段落【 ~ 】	人口が増加する中で家屋の材料や日々の薪、それに農耕地を作るために伐採された。【 】	3 段落	日本列島において文明が長く繁栄してきた背景にも、国土の七〇パーセント近くが森で覆われているということが深くかかわっている。【 】
		モアイの製造が始まると運搬用のころや支柱としても使われるようになり、森がよりいっそう破壊されていった。【 】 モアイが突然作られなくなったのはなぜ？ 森が消滅したため。【 】	資料集	木材の切り出しや、牧場・農場・鉱山の開発、道路建設やダム建設、不法伐採などによる熱帯雨林の破壊が問題になっている。(資〔録〕P.48)
食料・資源問題について	(4) 形式段落【 ~ 】	表層土壌が流失してしまうと、もう主食のパナナやタロイモを栽培することは困難となる【 】 木がなくなったため船を造ることもままならなくなり、たんぱく源の魚を捕ることもできなくなった。【 】	地理の教科書	表面の肥えた土が流れてしまう土壌浸食が深刻な問題になっている。(地P.119)
		こうして、イースター島は次第に食糧危機に直面していくことになった。【 】	3 段落	食料生産に関しての革命的な技術革新がないかぎり、地球の人口が八十億を超えたとき、食糧不足や資源の不足が恒常化する危険性は大きい。【 】
		その過程で、イースター島の部族間の抗争も頻発した。【 】	地理の教科書	食糧不足や資源の不足への対策として、農業と環境問題に目を向けるべきである。(地P.79)
		モアイを作った文明はどうなってしまったの？ 十七世紀後半から十八世紀前半に崩壊した【 】	自分の考え	その森を破壊し尽くしたとき、その先に待っているのはイースター島と同じ飢餓地獄である。【 】 資源をめぐる紛争や戦争が世界の様々な場所で起こり、重大な問題になっている。(目)
		3 段落	イースター島のこのような運命は、わたしたちにも無縁なことではない。【 】	
		3 段落	とするならば、わたしたちは、今あるこの有限の資源をできるだけ効率よく、長期にわたって利用する方策を考えなければならない。【 】	
		3 段落	それが、人類の生き延びる道なのである。【 】	
まとめ	4 友達と意見交流をする。	5	少人数(三~四人)のグループに分け、各自の書き込みをもとに、自分の考えの練り合いをさせる。	
	5 自分の考えを、振り返って書き直す。		友達の意見を参考にさせて、自分の考えの練り直しをさせる。	
	6 クラス全体の場で、自分の意見を発表する。		友達の意見を参考にさせて、もう一度、自分の考えの練り直しをさせる。	
	7 自分の考えを、もう一度、振り返って書き直す。		早く書けた生徒には、感想を発表させる。	
	8 自己評価欄に、本時の自己評価・感想等を記入する。		次時の予告をするとともに、時間が足りなくて感想が書けなかった生徒には、次時まで書いておくよう指導する。	

【5時間目】

1 ねらい：「読みの課題」について具体的に読み取っていくための観点に沿って、自分なりの「問題点」に対する解決策をまとめる。

2 本時の展開

過程	学 習 活 動	時間	学習の支援及び留意事項（：全体への支援、：概ね満足に達していない生徒への支援）	評 価 項 目
つかむ	<p>1 本時のねらいを確認する。</p> <p>2 「地球の未来」に関する自分なりの考えをまとめるための観点を選ぶ。 （【ワークシート 下】）</p>	5	<p>自己評価欄を基に、本時の学習内容を確認させる。</p> <p>四つの具体的な観点の中から一つを選ばせる。</p> <p>四つの観点が、【ワークシート 下】の「イースター島」と「現在の地球」とを比較した表の、上段と下段の両方の内容に關係するキーワードからできていることを確認する。</p> <p>人口の増加について 森林の破壊について 食糧・資源問題について 土壌の流失について</p> <p>上記以外の観点でも良いことを知らせる。</p>	
<p>自分で選んだ観点を基に、【ワークシート 下】の「イースター島」と「現在の地球」とを比較して、そのことに対する自分なりの主張（解決策）を考えてみましょう。</p>				
深める	<p>3 自分で選んだ観点を基に、【ワークシート 下】の「イースター島」と「現在の地球」とを比較して、そのことに対する自分なりの主張（解決策）を考える。 （【ワークシート 下】）</p>	25	<p>教科書（国語）やサブテキスト（地理の教科書や資料集）をよく読ませることで、【ワークシート 下】に黄色付せん紙で書いた「イースター島」や「現在の地球」に関する記述箇所と、青色付せん紙で書いたサブテキストからの記述箇所の内容を確認させる。</p> <p>「イースター島」と「現在の地球」とを比較させ、「知っていることで付け足すことはどんなことか。」「具体的な問題に対してどうすべきだと考えるのか、自分たちには何ができるのか」ということを生徒のレベル、生徒の身近な部分で考えさせ、赤色付せん紙に記入させる。</p> <p>【ワークシート 下】の「イースター島」と「現在の地球」とを比較した表の下部に、赤色付せん紙をはり付けさせる。</p> <p>【【ワークシート 下】の「イースター島」と「現在の地球」の付せん紙を見比べて、「あなたが知っていることで付け足すことは他にありますか。」「具体的な問題に対してどうすべきだと考えますか。自分たちには何ができるとおもいますか。」ということを書いた付せん紙に書いてみましょう。】という補助発問を参考にさせる。</p> <p>主張（解決策）（例）</p> <p>人口の増加について モアイ像を現代の都会のビルに例える人もいる。 日本は減少傾向にあるが、アジアやアフリカの国々の中には、人口の増加が止まらない国が多い。 人口増加を食い止める方法を考えなければならない。</p> <p>森林の破壊について 宅地や耕作地（畑など）を造成するために森林を伐採し、森林面積が減少している。 森林資源を保護していかなければならない。 森林は天然のダム役を担っている。 森林の減少が洪水の原因となっている。 森林の減少が漁獲量にも影響するという事例がある。 地球温暖化、砂漠化、酸性雨による森林被害 環境問題への対策を考えていかなければならない。</p> <p>食糧・資源問題について とうもろこしや小麦が世界的に値上がりしている。 原油（ガソリン）の値上がり止まらない。 資源をめぐる紛争や戦争 世界中で頻発している。 食料や資源不足への対策を考えていかなければならない。</p>	<p>【読む能力】</p> <p>選択した観点（人口の増加について、森林の破壊について、食糧・資源問題について、土壌の流失について（その他））に沿って、記述内容的な正確性や必要性について吟味し、自分なりの「問題点」に対する解決策をまとめている。 《ワークシート》</p>
<p>【B】言語情報の正確な把握 【C】言語情報と生活体験との関連付け 【D】既有的知識や体験に基づく言語情報の評価</p>				

<p>4 友達と意見交流をする。</p> <p>5 自分の意見を、振り返って書き直す。</p> <p>6 クラス全体の中で、自分の意見を発表する。</p> <p>7 自分の意見を、もう一度、振り返って書き直す。</p>	<p>土壌の流失について</p> <p>孺恋村でも大雨の後には畑の土が流れ出すために、川の水が黒くにごることが多い。</p> <p>土壌の流失により、畑がやせて作物が育たなくなったり土地が砂漠化したりするなどの事例がある。</p> <p>土壌浸食への対策を考えていかなければならない。</p> <p>少人数（三～四人）のグループに分け、各自の書き込みをもとに、自分の考えの練り合いをさせる。</p> <p>友達の意見を参考にさせて、自分の考えの練り直しをさせる。</p> <p>意味があてれば表現の違いは問題ないが、内容的には、外れないようにする。</p> <p>友達の意見を参考にさせて、もう一度、自分の考えの練り直しをさせる。</p>	
<p>赤色付せん紙に書いてあることを基に、【ワークシート】に、自分なりの主張（解決策）を書いてみましょう。</p>		
<p>まとめる</p> <p>8 赤色付せん紙に記述したものを基にして、【ワークシート】に、自分なりの主張（解決策）の記述内容を整理する。</p>	<p>15</p> <p>赤色付せん紙に記述させたものを基に、「イースター島」と「現在の地球」とを比較した表や、教科書やサブテキストからの事例などの内容（その他の色の付せん紙）を確認させながら、自分なりの主張、自分で選んだ観点に対する解決策などを考えさせる。</p> <p>【ワークシート】に、赤色付せん紙に書いた自分なりの主張（解決策）を文章化させ、記入させる。</p> <p>〔赤色付せん紙に書いてあることや、その他の色の付せん紙に書いてあることをつなげて、自分なりの主張（解決策）を文章にしてみましょう。〕という補助発問を参考にさせる。</p> <p>主張（解決策）の記述内容（例）</p> <p>人口の増加について</p> <p>私は、世界の人口の変化を注意して見ていくとともに、インドの取り組みをアジアやアフリカの国々に広めていくべきだと思います。そのことが、人口爆発を防ぎ、地球を第二のイースター島にしない最も効果的な方法であると思います。</p> <p>森林の破壊について</p> <p>私は、日本を含む全世界の国々が、命の森を守っていくために立ち上がらなくてはいけないと考えます。そのことが、地球を第二のイースター島にしない最も効果的な方法であると思います。</p> <p>食糧・資源問題について</p> <p>私は、この日本古来の循環型農業を、まずは日本中の取組に、さらには、全世界的な取組に、発展させていかなければならないと思います。そのことが、地球を第二のイースター島にしない最も効果的な方法であると考えます。</p> <p>土壌の流失について</p> <p>私は、日本を含む全世界の国々が、アメリカ合衆国の土壌浸食を防いでいく取組を手本としていかなければならないと思います。そのことが、地球を第二のイースター島にしない最も効果的な方法であると思います。</p> <p>早く書けた生徒には、主張（解決策）を発表させる。</p> <p>時間的に余裕のある生徒には、「イースター島」と「現在の地球」とを比較させることにより自分なりの考えをまとめさせ、文章等により表現させる。</p>	
<p>9 自己評価欄に、本時の自己評価・感想等を記入する。</p>	<p>5</p> <p>早く書けた生徒には、感想を発表させる。</p> <p>次時の予告をするとともに時間が足りなくて感想が書けなかった生徒には次時まで書いておくよう指導する。</p>	

【6時間目】

1 ねらい：自分で選んだ観点到合った「イースター島」に関する記述や、それに対応する「現在の地球」の記述を比較して、自分なりの考えをまとめる。

2 本時の展開

過程	学 習 活 動	時間	学習の支援及び留意事項（：全体への支援、：概ね満足に達していない生徒への支援）	評 価 項 目
つかむ	1 本時のねらいを確認する。	5	自己評価欄を基に、本時の学習内容を確認させる。 本時は、「イースター島」と「現在の地球」との比較、自分で選んだ観點、教科書やサブテキストからの事例などの記述内容を整理し、「地球の未来」に関する自分なりの考えをまとめるための構想（文章構成）を考えることを告げる。	
深める	2 自分で選んだ観點に合った「イースター島」に関する記述や、その記述に対応する「現在の地球」の記述を比較して自分なりの考えをまとめる。 （【ワークシート】）	40	前の時間に、自分なりの考えがまとめられた生徒に、クラス全体の場で発表させ、他の生徒の参考にさせる。 比較の記述内容（例） 人口の増加について イースター島では、人口が百年ごとに二倍ずつ増加し、十六世紀には一万五千から二万に達しました。現在の地球でも、当時のイースター島と同じように、地球始まって以来の異常な人口爆発が起っています。 森林の破壊について イースター島の人々は、ヤシの木をころとして使い完成したモアイを海岸まで運びました。また、人口が増加する中で家屋の材料や日々の薪、それに農耕地を作るために伐採されました。そして、モアイの製造が始まると運搬のころや支柱としても使われるようになり、森は、よりいっそう破壊されていきました。現在の地球でも、様々な理由による熱帯雨林の減少や破壊が問題となっています。 食糧・資源問題について イースター島では、木がなくなったため船を造ることもままならなくなり、たんぱく源の魚を捕ることもできなくなってしまいました。その後、次第に食糧危機に直面していくことになり、その過程で、部族間の抗争も頻発してしまいました。現在の地球でも、食料生産に関しての革命的な技術革新がないかぎり、地球の人口が八十億を超えたとき、食糧不足や資源の不足が恒常化する危険性は大きいと言われています。 土壌の流失について イースター島では、表層土壌が流失してしまったために、主食のパナナやタロイモを栽培することは困難となりました。現在の地球でも、表面の肥えた土が流れてしまう土壌浸食が問題になっています。	【読む能力】 「イースター島」と「現在の地球」との比較、自分で選んだ観點〔人口の増加、森林の破壊、食糧・資源問題、土壌の流失、（その他）〕、教科書やサブテキストからの事例などの記述内容を友達の意見を参考にして整理するとともに、〔比較・観點、事例、主張（解決策）〕という文章構成例を基に「地球の未来」に関する自分なりの考えをまとめるための構想を考えている。 《ワークシート》
	3 自分で選んだ観點の記述内容を整理をする。 （【ワークシート】）		観點の記述内容（例） 人口の増加について 私は、地球がイースター島と同じ運命をたどらない	

<p>4 教科書やサブテキストから自分で選んだ観点に合った事例を確認させる。</p> <p>5 「地球の未来」に関する自分なりの考えをまとめるための文章構成を考える。 【ワークシート】</p> <p>6 友達と意見交流をする。</p> <p>7 自分の意見を、振り返って書き直す。</p> <p>8 クラス全体の場で、自分の意見を発表する。</p>	<p>ようにするためには、一番に「人口爆発」(人口の増加)について目を向けていく必要があると思います。</p> <p>森林の破壊について 私は、地球がイースター島と同じ運命をたどらないように、森林の減少や破壊を防ぐための対策に目を向けていく必要があると思います。</p> <p>食糧・資源問題について 地球がイースター島と同じ運命をたどらないように、食糧不足や資源の不足についての対策を考えていくべきだと思います。</p> <p>土壌の流失について 私は、地球がイースター島と同じ運命をたどらないように、土壌の流失を防いでいくことに目を向けていく必要があると考えます。</p> <p>教科書やサブテキスト(地理の教科書【「社会科 中学生の地理」帝国書院】・資料集【「最新 地理 資料集」明治図書】)を基に、自分で選んだ観点に合った事例を確認させる。</p> <p>自分で選んだ観点に合った事例を探すことが難しい場合には、以下の事例の掲載箇所(例)を参考にさせる。</p> <p>事例の掲載箇所(例)</p> <p>人口の増加について 地理の教科書...P.151、 国語の教科書... 段落</p> <p>森林の破壊について 資料集...〔後期〕P.48、 P.68</p> <p>食糧・資源問題について 地理の教科書...P.79</p> <p>土壌の流失について 地理の教科書...P.119</p> <p>比較・観点、事例、主張(解決策)という文章構成例を基にして、「地球の未来」に関する自分なりの考えをまとめるための文章構成について考えさせる。</p> <p>時間的に余裕のある生徒には、比較・観点、事例、主張(解決策)という文章構成例にこだわることなく、自分なりに文章構成を工夫して、「地球の未来」に関する考えをまとめるための文章構成について考えさせる。</p> <p>少人数(三~四人)のグループに分け、各自の書き込みをもとに、自分の考えの練り合いをさせる。</p> <p>友達の意見を参考にさせて、自分の考えの練り直しをさせる。</p> <p>意味があっていれば表現の違いは問題ないが、内容的には、外れないようにする。</p>	
<p>まとめ 9 自分の意見を、もう一度、振り返って書き直す。</p> <p>10 自己評価欄に、本時の自己評価・感想等を記入する。</p>	<p>5</p> <p>友達の意見を参考にさせて、もう一度、自分の考えの練り直しをさせる。</p> <p>早く書けた生徒には、感想を発表させる。</p> <p>次時の予告をするとともに時間が足りなくて感想が書けなかった生徒には次時まで書いておくよう指導する。</p>	

【7時間目】

- ねらい：作品から読み取った筆者の考えを基に、「地球の未来」に関する自分なりの考えをまとめる。
- 本時の展開

過程	学 習 活 動	時間	学習の支援及び留意事項（：全体への支援、：概ね満足に達していない生徒への支援）	評 価 項 目
つかむ	1 本時のねらいを確認する。	5	自己評価欄を基に、本時の学習内容を確認させる。 場合によっては、この時間だけでは終わらずに2時間かかることも考えられることを告げる。	
深める	作品から読み取ったことを基に、「地球の未来」に関する自分なりの考えを、〔 比較・観点、 事例、 主張（解決策）〕という構成例を参考にして、【ワークシート 下】にまとめてみましょう。			
	2 作品から読み取ったことを基に、「地球の未来」に関する自分なりの考えをワークシートにまとめる。 （【ワークシート 下】）	40	「地球の未来」に関する自分なりの考えをまとめさせることで、「イースター島のこのような運命は、わたしたちにも無縁なことではない。とするならば、わたしたちは、今あるこの有限の資源をできるだけ効率よく、長期にわたって利用する方策を考えなければならない。それが、人類の生き延びる道なのである。」（要旨）と筆者が主張した理由をそれぞれの立場（観点）で考えさせる。 三時間目以降、使用しているサブテキスト〔地理の教科書...地（「社会科 中学生の地理」帝国書院）や資料集...資（「最新 地理 資料集」明治図書）〕に書かれている内容についても、参考にさせる。 作文の構成例として、 比較・観点、 事例、 主張（解決策）を提示して参考にさせる。 〔前の時間に学習したことを思い出して「イースター島」と「現在の地球」とを比べて書いてみましょう。〕という補助発問を参考にさせる。 〔サブテキストや教科書から、自分で選んだ観点に関係する事例を探してみましょう。〕という補助発問を参考にさせる。 〔自分で選んだ観点に対する主張も書いてみましょう。〕という補助発問を参考にさせる。 自分で選んだ観点に対する解決策について、考えさせる。	【読む能力】 文章構成例を基に、観点・比較・事例・主張（解決策）などの記述を入れて、「地球の未来」に関する自分なりの考えをまとめている。《ワークシート》
	【E】新たな思考の生み出しと言語化			
	人口の増加について 《パターン1》 イースター島では、人口が百年ごとに二倍ずつ増加し、十六世紀には一万五千から二万に達しました。現在の地球でも、当時のイースター島と同じように、地球始まって以来の異常な人口爆発が起っています。……………比較 そこで私は、地球がイースター島と同じ運命をたどらないようにするためには、一番に「人口爆発」について目を向けていく必要があると思います。……………観点、以上「序論」 人口爆発とは、アジアやアフリカでの急激な人口増加のことを言います。一九五〇年代に二十五億足らずだった地球の人口は、半世紀もたたないうちに、その二倍の五十億を突破してしまいました。このまま人口の増加が続いていけば、二〇三〇年には八十億を突破し、二〇五〇年には百億を超えるだろうと予測されています。しかし、人口増加の様子は地域によって大きく異なります。日本をふくむ先進国とよばれる地域では、人口増加率は低くなってきています。一方で、南アジアやアフリカなどの発展途上国とよばれる地域には、出生率が高く、高い人口増加率が続いている国もあります。これらの国では、食料の生産が人口増加に追いつかないなどの問題が生じています。インドでは、家族計画がすすめられて、都市部の家族の平均的な子どもの数が減ったという話もあります。……………事例 （地P.151）（教科書 ） 以上「本論」 したがって、私は、世界の人口の変化を注意して見ていくとともに、インドの取組をアジアやアフリカの国々に広めていくべきだと思います。そしてそのことが、人口爆発を防ぎ、地球を第二のイースター島にしない最も効果的な方法であると思います。……………主張（解決策） 以上「結論」 《パターン2》 私は、地球がイースター島と同じ運命をたどらないようにするためには、「人口爆発」について目を向けていく必要があると思います。……………観点、以上「序論」 人口爆発とは、アジアやアフリカでの急激な人口増加のことを言います。一九五〇年代に二十五億足らずだった地球の人口は、半世紀もたたないうちに、その二倍の五十億を突破してしまいました。このまま人口の増加が続いてい			

けば、二〇三〇年には八十億を突破し、二〇五〇年には百億を超えるだろうと予測されています。しかし、人口増加の様子は地域によって大きく異なります。日本をふくむ先進国とよばれる地域では、人口増加率は低くなってきています。一方で、南アジアやアフリカなどの発展途上国とよばれる地域には、出生率が高く、高い人口増加率が続いている国もあります。これらの国では、食料の生産が人口増加に追いつかないなどの問題が生じています。インドでは、家族計画がすすめられて、都市部の家族の平均的な子どもの数が減ったという話もあります。……………事例

(地P.151)(教科書) 以上「本論」

イースター島では、人口が百年ごとに二倍ずつ増加し、十六世紀には一万五千から二万に達しました。現在の地球でも、当時のイースター島と同じように、地球始まって以来の異常な人口爆発が起こっています。……………比較

そこで私は、世界の人口の変化を注意して見ていくとともに、インドの取組をアジアやアフリカの国々に広めていくべきだと思います。そのことが、人口爆発を防ぎ、地球を第二のイースター島にしない最も効果的な方法であると思います。……………主張(解決策) 以上「結論」

森林の破壊について

《 パターン1 》

イースター島の人は、ヤシの木をころとして使い完成したモアイを海岸まで運びました。また、人口が増加する中で家屋の材料や日々の薪、それに農耕地を作るために伐採されました。そして、モアイの製造が始まると運搬のころや支柱としても使われるようになり、森は、よりいっそう破壊されていきました。現在の地球でも、様々な理由による熱帯雨林の減少や破壊が問題となっています。……………比較

したがって私は、地球がイースター島と同じ運命をたどらないように、森林の減少や破壊を防ぐための対策に目を向けていく必要があると思います。……………観点、以上「序論」

アマゾン川は、世界で最も広い熱帯雨林地帯の水を集める大河で、世界の川の流量の二十パーセントを占めています。また世界の酸素の二十パーセントはアマゾンのジャングルが出しているといわれ、地球温暖化の防止にはアマゾンの熱帯雨林がとても重要な役割を果たします。しかし近年、急速に熱帯雨林の破壊が進んでいます。木材の切り出しや、牧場や農場・鉱山の開発のために森林が伐採され、政府による道路建設、ダム建設が破壊に拍車をかけています。アマゾン熱帯雨林の二割がすでに破壊されました。失った緑はもう戻ってきません。……………事例

(資(後期)P.48) 以上「本論」

そこで私は、日本を含む全世界の国々が、命の森を守っていくために立ち上がらなくてはならないと考えます。そのことが、地球を第二のイースター島にしない最も効果的な方法であると思います。……………主張(解決策) 以上「結論」

《 パターン2 》

私は、地球がイースター島と同じ運命をたどらないように、森林の減少や破壊を防ぐための対策に目を向けていく必要があると思います。……………観点、以上「序論」

イースター島の人は、ヤシの木をころとして使い完成したモアイを海岸まで運びました。また、人口が増加する中で家屋の材料や日々の薪、それに農耕地を作るために伐採されました。そして、モアイの製造が始まると運搬のころや支柱としても使われるようになり、森は、よりいっそう破壊されていきました。現在の地球でも、様々な理由による熱帯雨林の減少や破壊が問題となっています。……………比較

アマゾン川は、世界で最も広い熱帯雨林地帯の水を集める大河で、世界の川の流量の二十パーセントを占めています。また世界の酸素の二十パーセントはアマゾンのジャングルが出しているといわれ、地球温暖化の防止にはアマゾンの熱帯雨林がとても重要な役割を果たします。しかし近年、急速に熱帯雨林の破壊が進んでいます。木材の切り出しや、牧場や農場・鉱山の開発のために森林が伐採され、政府による道路建設、ダム建設が破壊に拍車をかけています。アマゾン熱帯雨林の二割がすでに破壊されました。失った緑はもう戻ってきません。……………事例

(資(後期)P.48) 以上「本論」

私は、日本を含む全世界の国々が、命の森を守っていくために立ち上がらなくてはならないと思います。そのことが、地球を第二のイースター島にしない最も効果的な方法であると思います。……………主張(解決策) 以上「結論」

食糧・資源問題について

《 パターン1 》

イースター島では、木がなくなったため船を造ることもままならなくなり、たんぱく源の魚を捕ることもできなくなってしまいました。その後、次第に食糧危機に直面していくことになり、その過程で、部族間の抗争も頻発してしまいました。現在の地球でも、食料生産に関しての革命的な技術革新がないかぎり、地球の人口が八十億を超えたとき、食糧不足や資源の不足が恒常化する危険性は大きいとされています。……………比較

私は、地球がイースター島と同じ運命をたどらないように、食糧不足や資源の不足についての対策を考えていくべきだと思います。そして、その解決策として、農業と環境問題に関することに目を向けていく必要があると考えます。……………観点、以上「序論」

食料となる農産物を生産する農村では、環境問題は大きな課題となっています。消費者の間に農業や科学肥料への不安が高まるにつれ、無農薬、低農薬などをかかかって生産する農家がめだってきました。これらの農家では、かつて使われていた堆肥を用いる有機農業が見なおされています。山形県長井市では、畜産農家と一般家庭・自治体が協力して、有機農業が行われています。消費者は有機農業でとれた野菜を買い、その生ごみは、堆肥センターで堆肥にされて、また野菜栽培に生かされるという、生活と農業の輪ができあがっています。このような輪は、循環型農業とい

われ、各地でさまざまな取組が行われています。……………事例（地P.79）以上「本論」
 私は、この日本古来の循環型農業を、まずは日本中の取組に、さらには、全世界的な取組に、発展させていかなければならないと思います。そのことが、地球を第二のイースター島にしない最も効果的な方法であると考えます。…
 ……………主張（解決策）、以上「結論」

《パターン2》

私は、地球がイースター島と同じ運命をたどらないように、食糧不足や資源の不足についての対策を考えていくべきだと思っています。そして、その解決策として、農業と環境問題に関することに目を向けていく必要があると考えます。
 ……………観点、以上「序論」

食料となる農産物を生産する農村では、環境問題は大きな課題となっています。消費者の間に農業や科学肥料への不安が高まるにつれ、無農薬、低農薬などをかかかって生産する農家がめだってきました。これらの農家では、かつて使われていた堆肥を用いる有機農業が見なおされています。山形県長井市では、畜産農家と一般家庭・自治体が協力して、有機農業が行われています。消費者は有機農業でとれた野菜を買い、その生ごみは、堆肥センターで堆肥にされて、また野菜栽培に生かされるという、生活と農業の輪ができています。このような輪は、循環型農業といわれ、各地でさまざまな取組が行われています。……………事例（地P.79）以上「本論」

イースター島では、木がなくなったため船を造ることもままならなくなり、たんぱく源の魚を捕ることもできなくなってしまいました。その後、次第に食糧危機に直面していくことになり、その過程で、部族間の抗争も頻発してしまいました。現在の地球でも、食料生産に関しての革命的な技術革新がないかぎり、地球の人口が八十億を超えたとき、食糧不足や資源の不足が恒常化する危険性は大きいと言われています。……………比較

私は、この日本古来の循環型農業を、まずは日本中の取組に、さらには、全世界的な取組に、発展させていかなければならないと思います。そのことが、地球を第二のイースター島にしない最も効果的な方法であると考えます。…
 ……………主張（解決策）、以上「結論」

 土壌の流失について

《パターン1》

イースター島では、表層土壌が流失してしまったために、主食のバナナやタロイモを栽培することは困難となりました。現在の地球でも、表面の肥えた土が流れてしまう土壌浸食が問題になっています。……………比較

私は、地球がイースター島と同じ運命をたどらないように、表層土壌の流失を防いでいくことに目を向けていく必要があると考えます。……………観点、以上「序論」

大規模農業が行われているアメリカ合衆国では、大量の農薬や化学肥料を使ったり、同じ作物をくり返すことなどにより、作物を育てる力が弱くなるという問題がおこりました。さらに、風や雨によって、表面の肥えた土が流れてしまう、土壌浸食が深刻になりました。そのため、土壌が失われるのを少しでもくいとめようと、斜面の耕地では等高線耕作が行われています。等高線耕作は、水の流れる力を弱めて、土壌が流されないようにする方法です。また、アメリカ合衆国では、農家に補助金を出して、土壌浸食がおこりそうな耕地での耕作を何年中止し、そのかわりに木や牧草を植えて、耕地を守ろうとする法律もできています。……………事例（地P.119）以上「本論」

私は、日本を含む全世界の国々が、アメリカ合衆国の土壌浸食を防いでいく取組を手本としていかなければならないと思います。そのことが、地球を第二のイースター島にしない最も効果的な方法であると思います。……………主張（解決策）、以上「結論」

《パターン2》

私は、地球がイースター島と同じ運命をたどらないように、表層土壌の流失を防いでいくことに目を向けていく必要があると考えます。……………観点、以上「序論」

イースター島では、表層土壌が流失してしまったために、主食のバナナやタロイモを栽培することは困難となりました。現在の地球でも、表面の肥えた土が流れてしまう土壌浸食が問題になっています。……………比較

大規模農業が行われているアメリカ合衆国では、大量の農薬や化学肥料を使ったり、同じ作物をくり返すことなどにより、作物を育てる力が弱くなるという問題がおこりました。さらに、風や雨によって、表面の肥えた土が流れてしまう、土壌浸食が深刻になりました。そのため、土壌が失われるのを少しでもくいとめようと、斜面の耕地では等高線耕作が行われています。等高線耕作は、水の流れる力を弱めて、土壌が流されないようにする方法です。また、アメリカ合衆国では、農家に補助金を出して、土壌浸食がおこりそうな耕地での耕作を何年中止し、そのかわりに木や牧草を植えて、耕地を守ろうとする法律もできています。……………事例（地P.119）以上「本論」

そこで私は、日本を含む全世界の国々が、アメリカ合衆国の土壌浸食を防いでいく取組を手本としていかなければならないと思います。そのことが、地球を第二のイースター島にしない最も効果的な方法であると思います。……………主張（解決策）、以上「結論」

3 友達と意見交流をする。	5	原稿用紙を回し読みさせ、友達の考えに対して、自分なりのコメントを書かせる。
ま と め る 4 自分の考えを、振り返って書き直し、作品と比較する。 5 自己評価欄に、本時の自己評価・感想等を記入する。	5	友達の意見を参考にさせて、自分の考えの練り直しをさせる。その後、作品と比較させる。 早く書けた生徒には、感想を発表させる。